

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)		
山口市	仁保下郷地区(高野東・高野西・両浴・仁保市・野上・土井・高松・丸山)		
当初作成年月	直近の更新年月	今回の更新年月	
平成25年1月	平成31年1月	令和3年3月	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	133.2 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	112 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	14.4 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5.1 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.5 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	2.99 ha

2 対象地区の課題

- ・山際の農地が多いため、有害鳥獣被害や竹害が深刻である。
- ・担い手の高齢化が進み、土地・水路の管理が難しくなっている。
- ・農地の条件が悪い(畦畔が多い・田一枚が小さい)ため、耕作しにくい。
- ・新規就農者が定着しない、後継者の確保が出来ない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・出来る限り現状の農地の維持に努め、条件のよい農地については拡大意向のある中心経営体に集積していく。
- ・多面的機能支払交付金の活動を活用し、農地や農道の適切な管理を行っていく。

4 3の方針を実現するために必要な取組みに関する方針

- ・今後適切な農地管理を行っていくために、法人間連携等に向けた協議を行っていく。
- ・野上地区などの中心経営体がない山間部の集落からも、多面的機能支払交付金の活動組織の方に今後地区協議へ参加してもらう。
- ・新規就農者など新たな担い手の確保を図っていく。

5 中心経営体

9経営体

- ①現状の経営面積合計 49.21ha
- ②今後(5年後)の農地の引受けの意向 最大52.20ha
(地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計②-① 2.99ha)